

職員室より

「自主・創造・協和」を実現していくために ～日々の具体的な行動とそこで発する言葉を意識して～

連休が終わり、本格的に学校生活が始まっているところです。

学校は、皆さんの声にあふれて、活気に満ちています。元気いっぱい声だけでなく、悩みや不安を抱えている声も含まれます。私たちは、常に迷い悩みながらも、よりよい自分を見つけようと日々奮闘しますから、いつもいつも前向きで元気いっぱいではないのは当然といえば当然です。

中学校の時期は、人生の中で心と体が最も成長する時期です。その影響でホルモンのバランスが崩れたり、メタ認知力（自分を客観的に見つめる力）が高まり自分のことを考えすぎてしまったりなど肉体的精神的に苦しい期間もあります。その分、この時期の行動や考え方は、人生を今後どのように歩いていくかを大きく左右する時期といっても過言ではありません。「生き方」への軸がある程度定まってくる人生の重要なターニングポイントの一つです。

私たち教職員は、これを踏まえて皆さんをどのようにによりよく成長させていこうか、毎日考え続けています。一人一人違う個性を、この集団の中でどのように輝かせていくか相談し合って、時には、ご家庭の方とも協力し合って考え続けています。

悩んでいることや苦しいことがあったら、相談してほしいと思います。皆さんのよりよい軸足が定まるように一緒に考えていきます。

本校に脈々と受け継がれてきた「自主・創造・協和」の精神。これを歴代の先輩方が代々守り、次世代へと繋いできてくださったことには、非常に大きな意義があります。かつて、私たちと同じように悩み多き中学校時代を過ごした先輩方も、現在ではこの地域、そして日本や世界のそれぞれの舞台上、たくましくご自身の人生を歩んでおられます。生徒の皆さん、日々の具体的な行動を丁寧に積み重ね、言葉を大切にしながら一日一日を過ごしていきましょう。



校内研修

生徒がキラリと光る瞬間について、具体的な姿を思い出しながら、生徒が活躍する学習について話し合いました。

並木中学校：未来を拓く 「3つの校訓」と「言葉」の力

【自主】× 時を守る



5分前行動の実践により、
自分を律する自己管理能力を育みます。

【創造】× 場を清める



整理整頓を通じて身近な変化に気づき、
新しいアイデアを生む心を磨きます。

【協和】× 礼を正す



挨拶や返事で心を開き、互いに
尊重し助け合う精神を築きます。



未来は
「自分が発した言葉」
でつくられる



自分の言葉を一番聞いているのは
自分自身であり、それが心を作ります。

言葉は成長のための
「最重要アイテム」



後ろ向きな言葉を避け、励ましや
優しい言葉で自分の可能性を広げます。

